

平成22年6月4日

自動車交通局旅客課

## 「バスネットワークの将来像に関する研究会」報告書がまとまりました

○ 各主体の役割を明らかにし、地域の移動を支える効率的で持続的なバスネットワークを構築し、維持するために必要な施策や課題を検討するために開催してきた「バスネットワークの将来像に関する研究会」の報告書が、このほどまとまりました。

- 地域公共交通ネットワークは、社会構造の変化に伴い、輸送人員及び収入の減少、バリアフリー化の要請、多様化する移動ニーズへの対応等様々な課題に直面しています。このような中で、公共交通機関の中でも、特に地域住民と密着しているバスネットワークを、持続的な地域の足として構築・維持することは益々重要となってきているため、国土交通省自動車交通局は、「バスネットワークの将来像に関する研究会」を開催し、国、地方自治体、交通事業者、住民等の役割などについて、乗合バスをはじめとしたバスによる持続的な地域公共交通のネットワークを構築し、維持するために必要な施策や課題について検討してきました。
- 報告書では、現状を分析し、以下のような課題と今後の方向性についてまとめました。
  - (1) 各主体をめぐる実態と課題
  - (2) 多様化する地域・社会の実情に応じた課題
  - (3) 今後の検討の方向性
    - ①各主体の役割について
    - ②多様化する地域・社会への対応
- なお、本報告書が交通基本法に関する今後の検討に資する素材となることを期待し、さらに関係者からの意見を踏まえ、課題の整理、対応策について検討して参ります。
- 報告書本体及び付録資料は、ホームページ上で公開します。

[http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_tk3\\_000028.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000028.html)

- (添付資料) 別紙1 委員名簿  
別紙2 開催経緯  
別紙3 報告書概要

## ＜問い合わせ先＞

国土交通省自動車交通局バス産業活性化対策室

課長補佐 出口・佐々木 (内線 41-251・41-224)

(直通) 03-5253-8568